

令和7年度 拓南中学校 学校評議員の皆様による学校評価

【評定】 4:とても思う(あてはまる) 3:やや思う(あてはまる) 2:あまり思わない(あてはまらない) 1:全く思わない(あてはまらない)

評価領域	評価指標	総合判定	対象	肯定率	評定(%)				評定平均	学校の現状と主な取組、改善策等	学校評議員様からの御意見
					4	3	2	1			
教育課程・学習指導	学校は、松山の授業モデルをもとに、一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できる授業を行っている。	A	教職員	100	56	44	0	0	3.6	松山の授業モデルをもとに、各授業で「学習課題の設定」や「交流し考える学習」を取り入れ、学習の基盤づくりをしっかりと行うとともに、めあてを持って学習に取り組むことができるよう努めています。また、授業研究や校内研修を通じて、指導内容及び指導方法の改善・充実に取り組んでいます。	「交流し考える学習」を意識して授業できていたと感じました。 ・授業参観をさせていただき、学習の基盤をつくり、生徒自身の学習意欲を引き出す授業だと思いました。
			学校関係者	100	89	11	0	0	3.9		
	学校は、教科等の指導においてアナログとデジタルそれぞれのよさを適切に活かした授業改善に取り組んでいる。	A	教職員	92	60	32	8	0	3.5	従来の紙媒体のプリントや板書等に加え、1人1台のタブレット端末を、学習資料の提示、ドリル教材、レポート作成・発表、話し合い、授業の振り返りなどのツールとして活用しています。タブレット端末は学習のねらいや授業の状況に応じて、効果的に活用されているほか、生徒がアンケート調査に回答したり、生徒会選挙の投票をしたりする際にも積極的に使用されています。	一人一台端末の導入に伴い、ITリテラシー修得のための指導・支援が必要です。 ・デジタル化が進む中、色分けしてぎっしりと書き込まれているノートを見ると、従来の学習もうまく活用していると思いました。 ・今の時代、ICTが導入され、取り扱えないと損をするような感じがするため、活用方法をしっかりと学んで、学力を上げていってほしい。タブレットの活用がよくできている。 ・板書とモニターを効率よく使っていると感じた。タブレットの扱いにも慣れている様子だった。
			学校関係者	100	89	11	0	0	3.9		
	学校は、児童生徒の学力や体力の状況を把握し、それらの充実に向け計画的に指導を行っている。	A	教職員	100	48	52	0	0	3.5	今年度の全国学力・学習状況調査において、国語と数学の成績がともに県平均を上回り、良好な結果が得られました。この成果は、これまでの基礎・基本の定着を重視した指導や、興味・関心を引き出す授業展開によるものと考えます。また、授業前の黙想を含む学習規律の確立も、大きな要因であると考えています。	・のびのびと明るく授業を受けていた。学習の成果が表れていると感じた。 ・最近は良好な成績が続いています。大切な基礎・基本を重視した御指導の賜物です。
			学校関係者	100	100	0	0	0	4.0		
	学校は、地域に根ざした教育を行い、郷土を大切に思う児童生徒の育成に努めている。	A	教職員	96	72	24	4	0	3.7	素鷺公民館をはじめ、地域の方々との御協力のもと、今年度も「素鷺地区文化祭」や「素鷺地区はたちの集い」で、本校吹奏楽部が演奏を披露しました。また、昨年に引き続き実施した「オーロラ遊歩道美化活動」にも、約120名の生徒がボランティアとして参加し、地域貢献への意識を一層高めました。今年度、これらのボランティア活動が認められ、小さな親切運動「実行章」をいただきました。さらに、オーロラ遊歩道と学校の花壇に植えたコスモスとヒマワリの花は、小さな親切運動「コスモス・ヒマワリの花」コンクールで最優秀の「まごころ・かがやき大賞」を受賞しました。	・地域交流を大切に実践され、すばらしいと思います。地域の人も大変喜んでいます。 ・日頃より公民館事業に御協力いただきありがとうございます。また、数々の受賞おめでとうございます。 ・地域の皆さんは、生徒の参加を大変歓迎しています。素鷺地区文化祭の演奏では、楽器の運搬が大変だったようですが、地域からの協力もあったと聞いており、良い関係が築けていると思います。 ・拓中生の活躍は、素鷺地区においてかせないものとなっていて頼もしいです。
			学校関係者	100	100	0	0	0	4.0		
人権・同和教育・生徒指導	学校は、人権・同和教育の視点に立ち、いじめや差別を許さない意識や態度を育てている。	A	教職員	100	56	44	0	0	3.6	道徳科や学級活動の授業、生徒会が行う「いじめ0の日」の活動等に力を入れ、学校生活全般で生徒自身のいじめや差別を許さない意識が向上するように努めています。また、今年度は、人権・同和教育参観日に、らくさぶろう氏をお招きし、「言葉のチカラ」をテーマに、人生を豊かにするための言葉の重要性について語っていただきました。	・素鷺地区では人権を軸としたまちづくりをしており、思いやりの心を大切にしています。 ・生徒たちの人権意識が向上したと伺い、活動の成果だと思いました。 ・「いじめ0」になることを願います。
			学校関係者	100	89	11	0	0	3.9		
	学校は、「学校のきまり」など生徒指導体制の見直しを行い、児童生徒の実態に応じた適切な指導を行っている。	A	教職員	96	52	44	4	0	3.5	校則については、毎年見直しを行っています。本年度も2学期に生徒の意見を取りまとめ、生徒協議会を経て、3学期に生徒、保護者、教員による校則等検討委員会を開催しました。生徒・保護者・教員の共通理解のもと、よりよいルールづくりを目指して取り組んでいます。	・ルールの見直しを毎年行っているのは、すばらしい取組です。 ・我が子が通学していた頃には曖昧だった校則が見やすいカラーで掲示されており、生徒一人一人が確認しやすいのがよいと感じました。 ・生徒の声にも耳を傾け、毎年、校則の見直しをしているのはよい。
			学校関係者	100	100	0	0	0	4.0		
キャリア教育	学校は、将来に夢をもち、自分の進路や生き方について考える児童生徒を育てている。	A	教職員	100	56	44	0	0	3.6	キャリア教育は本校の重要な教育活動の1つで、生徒に多様な学習の機会を提供しています。1年生は職業調べ、2年生は職場体験学習を実施し、事業所等での4日間の活動やマナー講座を含む充実した活動を行いました。3年生での「消費者生活講座」を含め、各学年に応じたキャリア教育や進路指導を通じて、将来の社会人としての基盤づくりを行っています。	・社会で生き抜く力を養うキャリア教育に力を入れていることは、とても大事な取組である。拓南中の特色として今後も注力すべき。 ・拓南中は、学習、身体づくり、未来へのキャリアアップに適した環境にあると思います。 ・職場体験の飲食店ホールで黙々とお皿の片付けをしている姿が印象的で頼もしく思った。
			学校関係者	100	100	0	0	0	4.0		
安全管理	学校は、児童生徒に交通安全やけが等の防止について適切な指導を行うとともに、安全な環境づくりに努めている。	A	教職員	100	48	52	0	0	3.5	全教職員がそれぞれの管理責任場所を毎月点検することで、安全な環境づくりに努めています。交通安全については、青少年育成支援委員、スクールガードリーダー、市の教育支援センター等の協力を得て、安全な登下校を実現するため、適宜指導を行っています。	・自分の身は自分で守る。 ・交通安全の面では、地域の危険箇所を把握してもらい、生徒の声掛けもしていただき安心です。 ・体育館の床がささくれ、怪我が心配です。熱中症対策も学校だけでは限界があり、行政に期待したい。 ・登校時、3学期になって歩道橋ではなく横断歩道を通る生徒がいて残念です。
			学校関係者	100	89	11	0	0	3.9		
保健管理	学校は、家庭と連携して個々の健康状態を確認するとともに、環境衛生の維持・改善を行い、児童生徒の健康保持・増進に努めている。	A	教職員	100	60	40	0	0	3.6	各家庭に「保健だより」を配付し、望ましい生活習慣について、家庭でも協力いただけるよう啓発を行っています。また、保健委員会の生徒たちによる集会などを通じて、健康な体づくりについて、生徒たち自らが考える活動も大切にしています。さらに、日赤の助産師による「思春期教室」や東消防署員による「命の講座」など、外部講師による充実した活動も実施しています。	・健康一番、防災への取組、全校あがての災害対策はどこにも負けないと思う。 ・生徒自らが健康に関心を持ち、外部講師による学びを受けとめてほしい。
			学校関係者	100	78	22	0	0	3.8		
	学校は、換気や手指衛生などの基本的な感染症対策を行っている。	A	教職員	100	60	40	0	0	3.6	マスクの着用は、熱中症対策を考慮して状況に応じた適切な呼び掛けを行っています。また、夏季および冬季にエアコンを使用する際には、常時教室の換気を行うよう指導しています。さらに、登校後に発熱やかぜの症状が見られた場合は、保護者に連絡して迎えに来てもらうなど、インフルエンザ等の感染拡大防止にも努めています。	・温暖化、感染症に負けない体づくりをしてください。 ・各教室にはエアコンが設置されているが、体育館にはない。防災訓練、地震訓練等でも、中学校体育館が使われるので、エアコン等の設置が必要である。 ・手洗い、うがい、マスクは感染防止に大切だと思う。 ・コロナ以降、溶連菌症も増加しているので、注意してほしい。
			学校関係者	100	78	22	0	0	3.8		
特別支援教育	学校は、特別支援教育の視点をもって取り組み、個に応じた配慮や指導を適切に行っている。	A	教職員	100	60	40	0	0	3.6	特別支援教育を推進するために、校内研修を実施し、特性を持つ生徒の指導について共通理解を深めました。この取組により、すべての生徒が安心して学校生活を送ることができる環境づくりに努めています。特に、個別の指導が必要な生徒に対しては、そのニーズに合わせたの指導計画を作成し、日々の教育活動に活かしています。さらに、通級指導教室では、支援を必要とする生徒に対して個に応じた適切な指導を行っています。	・若あゆ学級の生徒たちの演奏はすばしかなかったです。感動しました。 ・若あゆ学級の音楽の授業を見学させていただきました。ずっと先生は笑顔で、生徒は一生懸命に演奏していて、見ている私たちも引き込まれて、演奏が終わると自然と拍手をしていた。良い関係ができていると思います。 ・特性を持つ生徒の指導は難しいと思いますが、よろしく願います。
			学校関係者	100	100	0	0	0	4.0		
組織運営	学校は、管理職や学年主任等を中心とした組織的な対応を行っている。	A	教職員	100	72	28	0	0	3.7	教職員一人ひとりの強みを活かした指導を充実させるとともに、校長の指導の下、全体で情報を共有し、状況に応じて協議しながら、一つのチームとして組織的に対応しています。また、各学年部においても、学年主任を中心に連携・協力し、生徒に寄り添ったきめ細かな指導に努めています。	・チームワークの成果が、隅々までいきわたっていると思います。 ・校長先生のリーダーシップのもと、一致団結して生徒の指導にあたっていると思います。
			学校関係者	100	89	11	0	0	3.9		
研修	学校は、子どもたち一人一人が分かる授業づくりや、様々な教育課題への対応に向けて、積極的に研修に取り組んでいる。	A	教職員	100	52	48	0	0	3.5	松山市教育委員会教科等訪問では、音楽科を中心に授業研究を行いました。また、特別支援教育やICT活用に関する校内研修会を行い、教職員の資質・能力の向上に努めました。市や県、全国で実施される研修会にも積極的に参加し、坂井教諭はアクサユネスコ減災教育プログラムに採用され、県外の被災地を視察したり、最新の減災動向を学んだりしました。その知見を活かして本校で抜き打ち避難訓練を実施し、その後の省察では、プログラムの助成金で購入したドローンから撮影した映像を基に、避難経路の分析と改善を行いました。	・坂井先生、おめでとうございます。今後ますますのご活躍を！ ・新聞記事を見ました。防災意識が高まっているのはよいことと思います。 ・抜き打ち避難訓練の実施は大変な御苦労があったと思います。ドローンの撮影に他校の協力を要請し、地域だけでなく、広い関心を寄せられたと思います。生徒はもちろん、地域にもよい刺激となりました。今後も期待しております。 ・先生方が積極的に取り組み、自信を持って活動されている。
			学校関係者	100	89	11	0	0	3.9		
保護者・地域との連携・情報提供	学校は、教育活動の充実に向けて地域や保護者と連携・協力している。	A	教職員	100	60	40	0	0	3.6	素鷺地区自主防災訓練、素鷺地区文化祭、オーロラ遊歩道美化活動、夏のPTA奉仕作業、少年の日記念長距離歩行など、多岐にわたる活動が素鷺公民館及び素鷺地区まちづくり協議会、地域の方々、PTAとの連携・協力によって実施されています。特に、今年度の素鷺地区自主防災訓練では、今までの訓練を基に、新たな試みとして、ドローンが災害時の情報収集や救援物資の配送にどれだけ役立つかを実感するための訓練を行いました。素鷺地区の防災意識は、この訓練を通じて地域全体に広がっています。	・学校・地域・PTAが協働で行う防災訓練は、防災教育のモデルとなる取組であり、今後も継続・充実させて欲しい。 ・素鷺地区自主防災訓練を全校あげて実践し、効果을上げています。また、他のボランティア活動も積極的に参加していただき感謝しております。 ・私たちの住む素鷺地区は、災害に強いまちづくり、安心して暮らせるまちづくりを目指したいと思います。 ・学校や地域のお世話をしてくださる方々との連携は強いと感じるが、PTAに関しては不安が残る。アンケートの提出数を見ると半分回収できているので、まだよいと考えるところではあるが、理解を得ているのかといったら難しく、防災に関してはそんな大人の方を生徒がどうサポートするのだろうかと思う。 ・校長先生、教頭先生をはじめ、学校ぐるみで防災訓練に取り組んでいただき、素鷺地区全体の防災意識が高まった。
			学校関係者	100	89	11	0	0	3.9		
	学校は、学校・学年だよりやホームページ、配信システム等により、積極的に情報を発信している。	A	教職員	96	60	36	4	0	3.6	全教職員の視点を反映した情報を毎日ホームページで発信しています。また、学校・保護者間の連絡を容易にする「ミライムレター」の運用により、朝の欠席連絡をメールで送信できるようになり、配布文書をデジタル化して家庭に送信したりすることで、保護者の負担を軽減し、情報をより迅速に伝える努力をしています。	・情報はとても大切です。正しい情報を共有していきましょう。 ・ホームページで学校や地域行事の様子が分かり、見ていて楽しいです。更新も大変だと思いますが、これからもよろしく願ひいたします。 ・ホームページで学校の様子がよく分かる。
			学校関係者	100	78	22	0	0	3.8		
教育環境	学校は、言語活動の充実及び展掲示の工夫等の環境整備に努めている。	A	教職員	100	40	60	0	0	3.4	教職員や生徒会、各委員会などが協力し、校内掲示を充実させる取組を進めています。季節や行事に合わせた写真やメッセージ、生徒会活動のPR、生徒の絵画や書写、標語などの作品を掲示することで、校内環境の充実を目指しています。また、植物を活かした「癒しの空間づくり」にも力を入れています。	・環境整備も日頃より取り組まれています。 ・玄関の花に導かれ、通路のイラスト、校長室の植物、癒しの空間づくり満載ですね。すばらしい！ ・玄関前に観葉植物等あり、よいと思う。 ・本館通路の掲示が季節ごと、行事ごとに更新されており、生徒だけでなく、保護者や地域の関係者も楽しみにしています。また、植物の癒しも心地よい空間です。 ・校内掲示がよくできている。「癒しの空間」はホッとしてよい。
			学校関係者	100	89	11	0	0	3.9		
幼保小中連携	学校は、小1プロブレムや中1ギャップの解消につなげるために関係園・校で連携し、児童生徒の学校生活に対する不安感の軽減を図っている。	A	教職員	96	40	56	4	0	3.4	新入生が、中学校生活をスムーズにスタートできるよう、年度末には小学校と情報交換を行い、情報を収集して指導に役立てています。また、適応が難しい生徒に対しては、不登校対策の非常勤講師がサポートルームにおいてきめ細かな対応を行っており、スクールカウンセラーとも連携を取っています。さらに、生徒間の交流を促進するために、夏休みには有志生徒が素鷺小で学習支援を行う「スキルアップ教室」を開催し、素鷺小の文化祭では吹奏楽部が演奏を披露しました。特別支援学級「若あゆ」の生徒は、素鷺小及び福音小の児童との交流活動を実施しています。	・交流活動が活発そうでよい。 ・久米地区にある福音小学校とは、どうしても素鷺小学校よりも接する機会が少なくなりますが、素鷺地区以外の雰囲気を知ってもらうためにも、積極的に福音小学校とも交流をお願いしたいと思います。
			学校関係者	100	67	33	0	0	3.7		
	学校は、関係園・校で連携して児童生徒への理解を促進するとともに、系統性を重視した学習指導を行っている。	A	教職員	100	32	68	0	0	3.3	配慮を要する生徒に関しては、生徒指導主事や特別支援学級の教員が中心となり、校区内の小学校と定期的に情報交換を行い、日々の教育活動に活かしています。また、系統的な学習指導を重視するために、校区内の小学校6年生の年間指導計画を共有し、本校での教科指導の参考資料として活用しています。	・交流は必要です。今後につなげていこう。 ・配慮を要する生徒の指導は大変だと思いますが、愛情を持って導いていただきたい。
			学校関係者	100	56	44	0	0	3.6		